

# すがわら

令和4年10月  
愛川町立菅原小学校  
齋責 中村 慎輔  
電話 046-285-2794

か 考える子  
が がんばる子  
や やさしい心の子  
け 元気な子

行事の多い二学期です、いろんなことを体験し学んでほしいと願っています。

校長 中村 慎輔

9月13・14日に6年生が日光修学旅行へ、21・22日には、5年生がキャンプへ行きました。どちらもお天気に恵まれてよい体験ができました。10月は、1年生から4年生の遠足や、6年生による中津小学校との中学校区連合運動会など、楽しい行事が目白押しです。

二学期の始業式では、子どもたちに心がけてほしいこととして、「あいさつ」と「協力・助け合い」の話をしました。「あいさつ」については、ブログや前号の学校だよりでもかかせてもらいましたが、現在『菅小あいさつキャンペーン』を絶賛展開中です。毎朝の登校班の見守りでのあいさつをはじめ、先生や子どもたち有志によるあいさつキャンペーン推進動画を児童昇降口で放映するなど、あいさつの大切さ、素晴らしさを伝えるべく活動を進めています。

「協力・助け合い」については、学校行事が多い二学期だからこそ心がけてもらいたいと思っています。様々な行事をみんなが楽しいと思えるものにするためには、協力や助け合いが必要です。自分勝手なことをしたり、困っている人を助けてあげなかったり、友達の意見をちゃんと聞いてあげなかったりしたら、全員が楽しいと思える行事になりません。全員が楽しいと思えるようにするためにどうすればいいか、一人ひとりが相手を思いやる気持ちを持って、みんなの意見に耳を傾けて、困っている人がいたら、助け合い、協力し合って、素晴らしい行事を子どもたちの手で創りあげてもらいたいと考えています。そして、こういった体験・活動を通して、人間関係（コミュニケーション）能力や社会性を学び、身に付けていくことは学校教育だからこそできる貴重な学びと考えています。

平等と公正という言葉があります。似たような言葉ですが、違いをあげるとすると、平等は、量的な概念であり、公正は質的な概念です。

ちょっと難しいですね、例えば、

大地震のために学校の体育館に避難した人たちがいたとします。そこへおにぎりの配給がありました。

避難した人全員に等しく1個ずつ配る。これは平等の考え方によるものです。

一方、こういう考え方もあります。

避難している人には当然いろんな人がいます。幼稚園児もいれば、屈強なラグーマンのような体形の人もあります。ラグーマンのエネルギー消費量は、幼稚園児の2倍以上になるだろうから、ラグーマンには、2個配り、幼稚園児には1個配るといった「傾斜配分」的なやり方が公正に基づく考え方です。

量的な平等は分かりやすく答えも1つであり、とてもシンプルです。公正は、考え方や価値観、状況によっても変わってくるので、これが答えだというものではありません。一見すると、表面的には不平等だと捉える人が出てくる場合もあります。

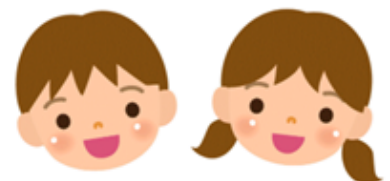
かつて学校は、長らく「平等」を特徴として、美德としてきました。それを損なう行為は「特別扱い」とか「えこひいき」とみなされてきました。

私が小学生の時の給食といえば、好き嫌いは許されず、食物アレルギーもほとんど考慮されず、同じものを同じ量食べなさい、というものでした。

「多様化」の時代になり、本校でも様々な状況の子どもたちが多数在籍しています。いろんな性格や個性の子がいて、外国につながる子どもも多く在籍しています。

平等はシンプルで、一見して誰にでも分かりやすいものです。しかし、現在は、本当の意味で全ての子どもたちに十分な教育機会を提供して適切な教育達成をめざそうとすると、「平等」だけでは難しい場面も多くなってきました。

学校としては、それぞれの子の事情にあわせてできるだけ適切な支援をしていきたいと考えています。誰かと比べるのではなく、その子自身の持っている個性や学習の速さ等にあわせた支援を行い、成長した部分があったら、それはその子の中で大きな進歩としてとらえながら、子どものがんばりを言葉にして、認めていきたいと思っています。



## 校内研究「学ぶ楽しさやよさに気付き、自ら学ぼうとする子の育成」

校内研究主任 松尾圭奈恵

菅原小学校のグランドデザインにある、めざす子どもの姿の中に「これからの時代に求められる資質・能力を身に付け、能動的に学び続けられる子ども」があります。子どもたちの中には「勉強は苦手だな」と思う子どももいて、その子どもたちはどうしても勉強に対して受け身になりがちです。子どもたちに、「学ぶことは楽しいな、もっと学びたいな」という気持ちになってもらうにはどうしたらいいか？」を考え、「学習が苦手な子どもも、友達と一緒に関わり合いながら学べば、自ら楽しく学ぶことができるのではないか？」このような仮説から、本校の新しい校内研究が昨年度よりスタートしました。

本校では、『学ぶ楽しさやよさに気付き、自ら学ぼうとする子の育成』を研究テーマとし、昨年度は算数・体育の教科を中心とした研究に取り組み、今年度は総合的な学習の時間・生活科を中心とした研究を行っています。

また、新学習指導要領に記載されている「教科横断的な学習」を通して、『学ぶ楽しさやよさに気付き、自ら学ぼうとする子の育成』をするために、今年度は「STEAM 教育」を重点に置いて研究しています。

11月2日(水)には、厚木愛甲地区の教員が本校に集まり、研究会を行います。子ども達が学ぶ楽しさやよさに気付き、自分から「学びたい!」と思えるような授業について、様々な教員の視点から意見交換をして、子ども達への普段の授業へ生かしていきます。

学習が苦手な子ども、友達と一緒に関わり合いながら学べば、自ら楽しく学ぶことができるのではないか？



総合的な  
学習の時間  
生活科

STEAM  
教育

学ぶ楽しさやよさに気付き、自ら学ぼうとする子の育成



## 令和4年 PTAの表彰状



以前にかがやけブログでも紹介をさせていただきましたが、本校PTAが神奈川県教育委員会より表彰を受けました。表彰状は、1階職員室前廊下の左側に掲額しておりますので、本校にお越しの際はご覧いただけると幸いです。

## これからの行事予定



10月17日(月)	二者面談(～21日) 東中吹奏楽部演奏会
18日(火)	3年遠足 4年稲刈り(雨天:24日) 2年親子レク
19日(水)	児童朝会 あすなる
20日(木)	SC来校日 かわせみ
26日(水)	あすなる
27日(木)	ピンクシャツデー かわせみ SC来校日
31日(月)	読書月間(～11/25まで)
11月9日(水)	ミニ音楽会
10日(木)	2年校外学習 かわせみ
11日(金)	連合音楽会